

「就職戦線始まる」 就職出陣式開催

6月14日(火)、本格的にスタートする就職戦線に向けた「就職出陣式」を開催した。自動車工学科を除く来春修了予定の2年生を激励するもので、11年連続の就職率100%を目指し、学院一丸となって取り組もうと式を開いた。学院長が「プロフェッショナルとしての自分の将来像を思い描き、強い意識と行動力で就職をつかみ取ってほしい」と激励した。

2年生を代表して電気システム科の久原誠矢さんが「身に付けた知識や技術を力にして就職戦線を勝ち抜く」と決意を述べた。なお、自動車工学科の13人及び建築技術・設計科の4人はすでに就職が内定している。

新型コロナの影響や世界情勢など雇用を取り巻く環境は予断を許さないが、企業の採用活動は活発で過去5年間で最高の求人数となっている。

式の最後に、送る側を代表して自動車工学科2年の田部龍也さんが力強いエールを送った。



「学院生募集活動」スタート 高校進路担当者説明会・オープンキャンパス開催

学院では入校生確保のため、高校訪問やハローワークでの活動さらにはSNS等を利用した情報発信等、様々な取り組みを実施している。6月に入ると高校3年生は進路を決めるための面談を控え、重要な時期を迎える。

6月2日(木)、3日(金)に高校の進路担当等の先生方に学院をより詳しく知っていただくために「進路担当者説明会」を実施した。また、6月12日(日)には、入校を考えている高校生やその保護者、さらには転職を見据えて入校を検討している在職者のために「オープンキャンパス」の第1回目を実施した。

説明会では視聴覚室での全体説明の後、学院生が訓練する実習場を見学した。訓練中の学生が説明する場面や先生が卒業生に声をかける場面もあった。「こんなに設備が充実しているとは思わなかった」等の感想をいただいた。オープンキャンパスでも「設備がすごい」「訓練を受ける姿がかっこよい」などの感想があった。

なお、オープンキャンパスについては同じ内容で7月10日(日)に第2回目、8月の4日(木)5日(金)には実習体験型のオープンキャンパスを実施する。



進路担当者説明会



オープンキャンパス(6月12日)

「技能五輪予選会開催」

職業能力開発協会主催

第60回技能五輪全国大会は11月4日~7日、千葉県で開催される予定である。その「旋盤」と「フライス盤」の出場選手を選抜する「技能五輪佐賀県予選会」が6月8日(火)に学院の機械実習場で実施された。

予選会には県内の企業2社から、旋盤部門に1人、フライス盤部門に2人が出場した。

なお、旋盤作業については後日九州地区の予選会があり全国大会に出場できるかが決定する。フライス盤については出場した2名が全国大会に出場する予定となっている。



「高校生による学院見学」

多久高校、有田工業高校

学院では、中学生や高校生の学院見学を受け入れている。毎年6月には高校生が「進路啓発事業」の一環で見学に訪れているが、今年は多久高校1年生と有田工業高校セラミック科3年生が見学に訪れた。

多久高校の1年生は、進路の決定はまだ少し先であるが、今後行われる「系列」の選択で「工業技術系列」を選択予定の生徒であり興味深く説明や工場見学を行っていた。一方、有田工業高校の3年生は進路の決定を間近に控え、学院への入校を希望している生徒や先輩も多数在籍し、真剣な眼差しで見学を行った。

高校別の入校者数では一番多い高校と、二番に多い高校であり、見学した生徒の中から多くの生徒が入校してくれることを期待している。



多久高校1年生



有田工業高校セラミック科3年生



【7月の主な行事】

委託訓練入校式：2 委託訓練修了式：1 委託訓練選考試験：3 在職者訓練開校式：1

- ・7/1 (金) 交通講話・労働安全講話
- ・7/6 (水) 就職支援セミナー (自動車工学科1年)
- ・7/10 (日) オープンキャンパス
- ・7/18 (月) ☀️ 海の日
- ・7/19 (火) 学院生健康診断
- ・7/29 (金) ボランティア清掃、1学期終業式

第2回オープンキャンパスを実施します

＜編集後記：学院長＞

今年度もいよいよ就職戦線がスタートします。学院生は技術・技能の高さは勿論、取り組む姿勢や社会人基礎力の高さが評価を受けています。強い気持ちと行動力で「内定」を勝ち取ってくれることを期待しています。若年者ものづくり全国大会への出場者4名が決定し、練習に入りました。